

大隅諸島・トカラ列島に分布する照葉樹林の研究

自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

石田 弘明



大隅諸島とトカラ列島は九州と奄美大島の間に位置する島嶼群です。人間活動が活発化する前は、両島嶼群に属する多くの島が照葉樹林に覆われていたと推察されます。しかし現在、高い自然性を有する照葉樹林は屋久島、黒島、口之島、中之島など一部の島でしかみられません。大隅諸島・トカラ列島特有の生態系と生物多様性を未来へ継承するためには、こうした照葉樹林を適切に保全することが必要です。

そこで私は、これらの島において照葉樹林の調査を行いました。その結果、照葉樹林の種組成は4島の間で明らかに異なっており、その相違は屋久島と他の3島との間で特に大きいことが確認されました。また、種多様性は屋久島が最も高く、他の3島との間に明らかな差がみられました。



中之島の照葉樹林



口之島の照葉樹林

